

令和2年12月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①新型コロナウイルス感染症への対策を引き続き徹底するとともに、②地域経済の活性化や③良好な都市・交通基盤の整備を図る。また、東京オリンピックに向けた準備を進めるほか、社会保障関係経費などに必要な措置を講じる。

まず、①市立の幼稚園や小学校、中学校の衛生環境を向上させるため、トイレを洋式化し、タイル張りの床を感染リスクがより軽減される乾式の床に改修するとともに、「1人1台端末」の有効活用に向けて、新年度当初から小学校、中学校にICT支援員を配置するための債務負担行為を設定する。また、市役所本館1階の総合窓口と市民サービスセンターに証明書の交付に伴うキャッシュレス決済を導入するほか、介護事業所が感染を防止しながらサービスを継続するために必要な経費を支援する。

このほか、感染症の影響で中止したイベントの経費等、不用になった既存予算を減額し、新たな対策に必要な財源とするとともに、今後の対策の財源として活用するため、財政調整基金への積立てを行う。

次に、②道後温泉本館保存修理工事中の活性化策について、現在の「道後REBORNプロジェクト」から新たな活性化事業へと切れ目なく取り組み、令和3年夏頃からの後期工事中も地域経済への影響を緩和するための準備を進める。また、今年7月の豪雨で被災した農業用機械等の復旧に必要な経費を支援するほか、農業生産条件が不利な中山間地域等の農業従事者や、有機農業等の地球温暖化防止や生物多様性の保全等に効果の高い農業生産活動を支援する。

さらに、③県が実施するJR松山駅の鉄道高架、松山港外港、中島環状線をはじめ、道路や港湾等の事業費の一部を負担し、良好な都市・交通基盤の整備を進める。

加えて、東京オリンピックに向けて、本市で行う聖火リレーの準備を進めるほか、社会保障関係経費について、法改正に対応するための介護保険及び障がい福祉システム等の改修や、過年度の実績確定に伴う国庫負担金の精算返納などを行う。また、指定管理業務の更新や坊っちゃん文学賞の公募、予防接種のワクチン供給などを次年度当初から円滑で効率的に執行するため、必要な債務負担行為を設定する。

なお、人件費については、人事院勧告などに準じて期末手当を引き下げる等の措置を行う。

2. 主な事業

(単位：千円)

① 新型コロナウイルス感染症への対策

(1) 幼稚園・小学校・中学校施設マネジメント事業	372,272
	(R2~5限度額)
(2) 教育の情報化推進事業 (ICT支援員配置業務委託) [債務負担行為]	174,600
(3) 一般事務費、市民サービスセンター事業	1,796
(市民課等証明書交付に伴うキャッシュレス決済手数料)	(R2~7限度額)
[債務負担行為]	7,300
(4) 介護事業所サービス提供体制確保事業	30,000

② 地域経済の活性化

(1) 道後温泉活性化事業 (未来へつなぐ道後まちづくり事業) [債務負担行為]	340,000
	(R2~5限度額)
(2) 道後温泉活性化事業	(R2~3限度額)
(道後温泉本館保存修理工事の観光資源化 (情報発信) 事業) [債務負担行為]	24,000
(3) 豪雨災害被災農業者緊急支援事業	14,916
(4) 中山間地域等直接支払推進事業	117,522
(5) 環境保全型農業直接支援対策事業	2,637

③ 良好な都市・交通基盤の整備

(1) 愛媛県土木建設負担金 (道路・街路) 事業	520,372
(2) 県営港湾・海岸整備事業地元負担金	114,439
・ スポーティングシティまつやま推進事業	1,320
(東京2020オリンピック聖火リレー実施事業)	(R2~3限度額)
[債務負担行為]	10,800
・ 職員人件費	△ 69,284

3. 補正予算の総額

(単位：千円)

区分	12月補正額		累計	対前年同期伸率
	通常分	人件費分		
一般会計	2,219,441	△ 54,431	255,230,280	34.73 %
特別会計	2,208,787	△ 14,853	136,362,838	2.92 %
企業会計	—	—	48,510,100	△ 0.82 %
計	4,428,228	△ 69,284	440,103,218	18.68 %
公債管理特別会計	—	—	16,931,500	
合計	4,428,228	△ 69,284	457,034,718	

4. 議案等

○ 予算案	14 件
○ 条例案	4 件
○ 事件案	8 件
○ 人事案	1 件
計	27 件
○ 報告	3 件